「アルゴリズムとデータ構造入門」 第3回課題

工学部情報学科 平成 25 年入学 学籍番号: 1029-25-2723 森井 崇斗

November 7, 2013

1 繰返型階上のプログラムの作成と実行

1.1 プログラムの内容

```
1 (define (factorial-iter n)
2
     (fact-iter 1 1 n)
3
  (define (fact-iter product counter max-count)
4
     (if (> counter max-count)
5
       product
6
7
       (fact-iter (* counter product)
                   (+ counter 1)
8
9
                   max-count
10
                   )
11
       )
12
```

1.2 出力結果

> (factorial-iter 103)

1.3 説明

- 1. 初めに引数としてnを受け取る。
- 2. そのnを利用して、fact-iterを呼び出す。
- 3. fact-iterの引数は3つあり、counterをmax-count (= n)に等しくなるまで1ずつ大きくしていく。
- 4. その counter の値を1つずつ掛けた物を product に格納する。
- $5.3 \ge 4$ を繰り返すことで $1 * 2 * \cdots (n-1)n$ を実現する。

2 教科書 1-2-3~1-3-1 の想定質問とその回答

2.1 想定質問

1.3.1 で紹介されている sum を利用したプログラムを作成せよ。

参考

2.2 想定質問への解答

 $1 \sim n$ までのそれぞれの階乗の和を計算するプログラムを作成する。 愚直に $1 \sim n$ までの階乗をそれぞれ求め、それの和を取ることでも求めることが可能であるが、n! は n(n-1)! であることを利用して実装する n! を求める際に既に (n-1)! の解は求まっているはずであるので、この解を利用すれば計算量を減らすことが可能である。

まず以下に sum をそのまま利用した場合の実装例を示す。

```
9
                  max-count
10
11
       )
12
13 (define (sum term a next b)
  (if (> a b)
15
     (+ (term a)
16
17
        (sum term (next a) next b))))
18 (define (inc n) (+ n 1))
19
       (define (sum-facts a b)
          (sum factorial-smart a inc b))
20
     次に前述の方法で計算量を減らした場合の実装例を示す。
1 (define (fact-sum-smart n)
   (define (iter counter product tmp)
    (if (< n counter)
    product
4
5
     (iter (+ counter 1)
6
           (+ product (* tmp (+ counter 1)))
7
           (* tmp (+ counter 1))
8
9
    )
10
    )
11
    (iter 1 1 1)
12
    )
```